

城山しろやま

〔文禄三年秀吉公伏見城を築給ふ。其後慶長五年石田が逆乱に滅ぶ。今は此丘山に桃花を数千株植て、春は天々たる艷陽の質をなし、遠近此山に集りて春色に酩酊し、桃花の色を奪ふ、これを伏見の桃見といふ〕

我衣にふしみの桃の雫せよ

はせを

城跡やもゆる火もなく桃の花

舜 福